

ボランティア活動を経験して

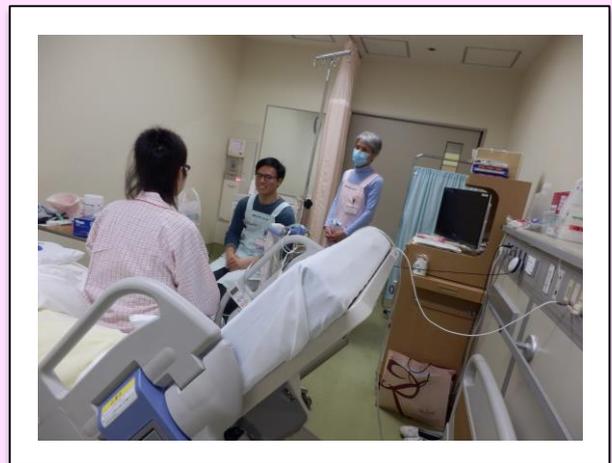
< 2016年4月2日 >

教室では得られない様々な経験を得るために、神戸大学医学部附属病院ボランティアの一員として2ヶ月間、毎日ボランティア活動をさせて頂きました。20種類以上の活動がある中、私は玄関案内や、病棟活動、院内学級で中学生に英語を教えたり、事務室で病院書類を英語に翻訳したりしました。

ボランティアを何年何十年も継続している方々がいる中、私は2ヶ月という短い期間でしたが、色々な「人」と触れ合う貴重な経験を得ることができました。看護師とスタッフの誠実な振る舞いや、同じボランティアメンバーの患者様に対する気遣いを目の当たりにして、改めて思いやりの大切さを実感しました。

短い間でしたが、看護師の皆様、スタッフの皆様、そしてボランティアの皆様と共に楽しく活動ができたことを心より感謝申し上げます。大変お世話になりました。

伊藤ブライアン賢倫



1月から3月までの2か月間毎日、ボランティア活動に参加してくれた伊藤ブライアン君。昨年、イギリスの大学を卒業したばかりの青年です。

現在、病院は外来の改装をしているので、患者さんから場所を聞かれることがとても多いのですが、あっという間に各所を覚え、迷うことなく返答、案内する姿に若さを実感。

彼の真面目で誠実な活動態度は、私たちにとっても良い刺激になりました。あなたの未来、100人のおじちゃん、おばちゃんが見守っていますよ！